



THE PLAYFUL ANTS

社会を小さく楽しく変える

越境型人材「うろうろアリ」の生き方・働き方



(筆者略歴) 唐川 靖弘 (からかわ やすひろ)

うろうろアリインキュベーター。EdgeBridge 合同会社代表。コーネル大学経営大学院サスティナブルグローバルエンタープライズセンター マネージングディレクター。

“社会に新しい価値をもたらす越境型人材「うろうろアリ (The Playful Ants)」を育成すること “をミッションに掲げ、「新市場開拓・ビジネスイノベーション」と「次世代リーダー育成・組織文化変革」のためのコンサルティングやコーチングを行っている。その他、グロービスマネジメントスクールおよび立命館大学 APU にてリーダーシップ、経営学、マーケティングの教鞭をとっている。慶應義塾大学文学部社会学科卒。コーネル大学ジョンソン経営大学院 MBA 修了。INSEAD Executive Master in Change (組織変革のための心理学) 修了。

さらば、「働きアリ」
ポストコロナ時代のイノベーションを生む
最強人材は「うろうろアリ」だ！

蟻の世界には、まじめに隊列を組んで一心不乱に餌を運ぶ「働きアリ」の他に、一見遊んでいるように「うろうろ」している蟻がいることをご存じですか。

協調性なく気ままに動く「うろうろアリ」は、およそ生産性からは程遠く、勤勉な働きアリのお荷物のように見えます。しかしその実、うろうろすることで、思いがけない餌場にたどり着き、新たな利益を生んだり、将来、自分たちに襲いかかる脅威をいち早く察知するなど、うろうろすることによる学習効果で組織を長期的に存続させていることが、進化生物学の世界でも知られています。

人間社会も同様です。変化や複雑性が加速度をつけて増す現代。何かを人に指示されて一心に動く「はたらきアリ」ではなく、自分ならではの目的意識や意義に導かれながら、自分の生き方や働き方を模索する「うろうろアリ」こそが、組織や役割の枠に捉われず、知や情報を見出し、繋げ、新しい価値を社会にもたらす、つまりイノベーションを起こすのです。

主な構成

- 第1章：うろうろアリを知ろう！
- 第2章：組織の中でうろうろアリになろう！（組織編）
- 第3章：人生でうろうろアリになろう！（個人編）

※ 自己の振り返りや志や強みなどの棚卸し、アクションの明確化や習慣の定着化をサポートするための、経営学 × 組織心理学の知見や実践プロジェクトに基づいたワークシートつき。

持続可能な企業の実践研究を行ってきたコーネル大学経営大学院
マーク・ミルスタイン教授 推薦！
その他、様々な業界で活躍するうろうろアリからの推薦多数！

| | | | |
|------|------|---|--|
| 店番線印 | ご注文数 | THE PLAYFUL ANTS 社会を小さく楽しく変える 越境型人材「うろうろアリ」の生き方・働き方 唐川 靖弘／著 | 定価：1,760 円 (10%税込) ISBN 978-4-9912801-3-9 発売日：2022 年 12 月 25 日 仕様：縦188×横128mm 240 頁 |
| | | | 発行：EB Publishing (イービーパブリッシング) Email: publishing@edgebridge.com |

ご注文は JRC へ 受注 FAX **03-3294-2177** TEL 03-5283-2230